

5. 「グローバル理工人育成コース」について

平成24年度に「文部科学省「平成24年グローバル人材育成推進事業」タイプB（特色型）」に本学プログラムが採択されました。

グローバル人材育成推進事業（平成26年度から、スーパーグローバル大学等事業「経済社会の発展を牽引するグローバル人材育成支援」に組み替えられました。）は、国際的な産業競争力の向上や国と国の絆の強化の基盤として、グローバルな舞台に積極的に挑戦し活躍できる「人財」の育成を図るため、大学教育のグローバル化を推進する取組を行うものです。

本学においては、学士課程に新興国等の科学技術の発展に貢献できる人材の育成を狙いとした新たなコース「グローバル理工人育成コース」を設置し、学士課程の入学定員の約10%（120名程度）の学生が本コースを修了することを目標に、専門力の教育に加え、学士課程の4年間で次の4つのプログラムによる教育を実施しています。

1. 国際意識醸成プログラム

国際的な視点から多面的に考えられる能力、グローバルな活躍への意欲を養います。

2. 英語力・コミュニケーション力強化プログラム

海外の大学等で勉学するのに必要な英語力・コミュニケーション力を養います。

3. 科学技術を用いた国際協力実践プログラム

国や文化の違いを越えて協働できる能力、複合的な課題について、制約条件を考慮しつつ本質を見極めて解決策を提示できる能力を養います。

4. 実践型海外派遣プログラム

自らの専門性を基礎として、海外での危機管理も含めて主体的に行動できる能力を養うもので、実際に海外派遣を行います。

※詳細については、グローバル理工人育成コースのHP（<http://www.ghrd.titech.ac.jp/w/>）を参照してください。